

令和3年度第三セクター経営評価結果及び対応について

株式会社アップルヒル

1 令和3年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

全ての項目において「概ね良好」の評価となっている。

※参考 令和2年度決算

- 当期損益 4,261千円 累積損益 74,002千円
- 市からの収入 4,411千円 (営業収益に占める割合 R2 : 1.4%←R1 : 1.1%)
うち競争によらないもの0千円 (営業収益に占める割合 R2 : 0%←R1 : 0%)

2 第三セクターの対応

◆経営戦略プラン(R2～R4)の取組と計画

経営基盤の強化、効果的・効率的な営業活動、「りんご」を核とした事業展開、情報発信力の強化、公益的事業の実施という経営戦略方針に基づき事業を推進。

○具体的取組

- ①組織体制、人材育成、財務基盤の充実等
- ②PDCAサイクルによる各種事業の見直し、改善等
- ③「りんご」のブランドを活用した県内外での販路開拓、イベント開催等
- ④多様な媒体を通じたイベント、観光、地域情報等の発信、インバウンド対策の推進等
- ⑤商工、農業、観光、教育等関係各団体との連携強化、公益的事業の継続実施等

○財務計画:令和4年度まで黒字目標

(R2 : 7,387千円、R3 : 7,504千円、R4 : 7,611千円)

【取組状況】

令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントの開催、県外での催事販売など経営戦略プランの計画どおり進めることができなかった取組も一部あったところ。

令和4年度以降については、状況に応じて柔軟に対応しながら、経営戦略プランに基づき計画的に取り組んでいく。

3 市の対応

不測の外的要因にも揺るがない経営基盤の強化を図るため、状況に応じた柔軟な対応、取組を迅速に実行できるよう、適切な指導等を行っていく。